

[診療報酬改定対応] 維持期リハは介護保険で! なぜ短時間通所リハが効果的なのかが分かる!

維持期リハから短時間通所リハ 移行を成功させるセミナー

対象

- ・診療報酬改定での維持期リハ大幅減収に伴い、患者の心理的負担を少なくして介護保険でのリハビリ提供を考えている方
- ・通所リハは外来リハの受け皿!! 通常のリハから短時間通所リハへの移行で効果的なリハビリを提供したい方

外来リハから移行してくる患者は「短時間での効果的なリハビリ」を求めてくることが予想されます!

通所リハ、訪問リハの実績のない医療機関は早急な対応を!!

開催の
ねらい

外来維持期リハビリの利用者が要介護認定を受けている場合など、基本点数の60%で算定し、医療機関が介護保険でのリハビリを提供していない場合、80%の減算になります。加えて、「目標設定等支援管理料」を算定していない場合は、さらにその90%での算定となり、維持期リハの大幅減算が実施されました。結果、医療保険でのリハビリよりも介護保険での短時間通所リハの方が収入が高いという、逆転現象が起きます。外来リハからのスムーズな通所リハへの移行(「みなし設置」)を活用した「活動」と「参加」のリハビリが求められています。また通所リハは外来リハの受け皿の役割が期待されています。ぜひ、本セミナーをご活用ください!!

医療保険と介護保険のリハビリの収入について (単位:千円)



①外来リハ(認知症1)2単位
・医療保険リハビリテーション料(1): 個別リハビリを1日2療法実施
・介護保険リハの実績なし、3ヶ月以内に目標設定等支援・管理料を算定していない場合
②短時間通所リハビリテーション
・介護料2 通常給収
・加算は、リハビリテーションマネジメント加算1日分+理学療法士等専任化加算
※リハマネ加算は、週2回(月9回)として1日分を算出した

東京会場

日時 2016年 **6月25日(土)** 10:00 ~ 16:15
会場 全水道会館 (東京都文京区本郷1-4-1)
参加費 **18,000円** (税・資料代込)

大阪会場

日時 2016年 **7月31日(日)** 10:00 ~ 16:15
会場 マイドームおおさか (大阪府大阪市中央区本町橋2-5)
参加費 **18,000円** (税・資料代込)

内容

当日は Q&A を含めた情報交換会を予定しています

午前 10:00 ~ 12:00

講師 **高木 綾一** 氏 (株式会社 Work Shift 代表取締役)

短時間通所リハへの移行を「するか」「しないか」を決める為に

ポイント 介護保険リハビリテーションにおける可能性

内容

- ・2016年度診療報酬改定が医療保険を用いた外来リハビリテーションに与えた影響
- ・短時間通所リハビリテーションとはどのようなものか?
- ・外来リハビリテーションと短時間通所リハビリテーションの収支とサービス内容の違い
- ・リハビリ室を共有した「みなし短時間通所リハ」のメリット
- ・短時間リハビリテーションの運営のコツ (採用・サービス等)
- ・利用者獲得のマーケティング など

午後 13:00 ~ 15:00

講師 **光田 尚代** 氏 (医療法人寿山会 喜馬病院 リハビリテーション部 課長)

短時間通所リハの効率的・効果的な運営

ポイント 医療・介護の連携強化の必要性を知り、自院の運営を見直す

内容

- ・外来リハ患者と短時間通所リハ利用者のニーズについて
- ・短時間通所リハにおける加算について
- ・効果を出すために必要なリハビリ専門職のマネジメントについて
- ・短時間通所リハで行うプログラムの工夫
- ・利用者確保のためのPRの工夫と施設、居宅介護支援事業所との連携
- ・短時間通所リハのメリット・デメリット など

Q&A・情報交換会
15:15 ~ 16:15

成功を持続的なものにする短時間通所リハの開設

講演中では聞けなかった内容を深く掘り下げ、それをネタに参加者同士で情報交換・講師陣にはアドバイスをさせていただきます。

講師紹介 魅力的な短時間通所リハをつくり、医療保険と介護保険でのリハビリテーションを成功させてきた講師陣の実践を大公開!!



高木 綾一 氏

株式会社 Work Shift 代表取締役
関西医科大学 保健医療学部
理学療法学科 助教 就任
訪問看護ステーション・デイサービス・病院・
福祉用具販売会社等の顧問・アドバイザー

【短時間通所リハへの移行で苦労すること】

- ① 通所リハビリ利用者の確保のためのマーケティング
- ② 医療保険外来リハビリとは違うアプローチの理解と技術の習得
- ③ 通所リハビリに対するセラピストや職員の意識改革

【利用者確保・プログラム・勤務体制の工夫にあたってのポイント】

- ・利用者確保のためには、リハビリテーションに関するマーケティングとブランディングが重要。また、自院の入院・外来・在宅との連携及び他の医療機関等との地域連携が重要
- ・プログラムをより良いものにするためには、個別リハビリテーション、集団リハビリテーション、自主トレの質の向上が重要である。また、心身機能だけでなく、活動と参加に関して取り組める組織づくりと、セラピストのリハビリテーションマネジメント能力が重要
- ・勤務体制で考慮するべき点は、複数のセラピストがいることで医療保険と介護保険リハビリテーションを展開することができる

【セミナーの参加ポイント】

1. 現在の医療・介護情勢を俯瞰的に捉え、自院のブランディングやマーケティングのヒントを得ることができる
2. 通所リハビリテーションの収益性だけでなく、介護保険リハビリテーションにおける可能性も学ぶことができる



光田 尚代 氏

医療法人寿山会 喜馬病院
リハビリテーション部 課長

【短時間通所リハへの移行で苦労すること】

- ① 通所リハビリ利用者の確保のためのPRと病院、施設との連携
- ② リハビリテーションマネジメントにおけるセラピストの能力、質の向上
- ③ 送迎に関する問題

【利用者確保・プログラム・勤務体制の工夫にあたってのポイント】

- ・利用者確保のためには、自院の入院・外来・在宅との連携及び、他の医療機関や居宅介護支援事業所との連携が重要
- ・プログラムをより良いものにするためには、個別リハビリテーション、集団リハビリテーション、自主トレの質の向上が重要である。また、心身機能だけでなく、活動と参加に関して取り組める組織づくりと、セラピストのリハビリテーションマネジメント能力が重要
- ・勤務体制で考慮するべき点は、複数名のセラピストの確保により、リハビリテーションサービスの展開の充実と効率が図りやすくなる

【セミナーの参加ポイント】

1. 介護保険におけるリハビリテーションサービスの展開や可能性を知ることができる
2. 医療から介護への連携強化の必要性を知ることによって地域の中での自院のあり方を見直す機会となる

参加にあたっての注意事項

- 申し込み用紙にご記入の上、事務局宛にFAXまたは郵送していただくか、ホームページからお申し込みください。
- お申し込み後、入金のご案内をFAXまたは郵送にてお送りいたします。お申し込み後1週間たっても入金案内が届かない場合は、事務局までご連絡ください。
- 参加費の納付をもって正式申し込みとなります。なお、参加費の返金はいたしません。参加者の変更は可能です。

維持期リハから短時間通所リハ移行を成功させるセミナー 参加申し込み書 **FAX 084-948-0641**

ご希望の会場に○をつけてください		6/25(土) 東京会場	7/31(日) 大阪会場
ふりがな		連絡先 (自宅勤務先)	TEL
氏名			FAX
住所 (自宅勤務先)			携帯
			メール (必須)
勤務先			職種